

令和元年6月25日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

令和元年度 第1回 地域経済活性化部会

◆ 6月25日(火)、美しい多摩川フォーラムの令和元年 第1回 地域経済活性化部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：令和元年6月25日(火) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：副部会長、運営委員、アドバイザー、会員、オブザーバー等

◎ 地域経済活性化部会の概要

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 講話

テーマ：「JR青梅線の観光路線化の取り組みについて」

講師：JR東日本八王子支社営業部販売促進課観光開発・宣伝グループ
副課長 佐々木 真弓 様

4. 経過報告

(1) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

①第10回“美しき桜心の物語”の語り会(3/30)

(八王子市・大光寺、平野啓子副会長)【資料1】※

②桜ウォーキングと桜守学校(4/5)

(武蔵小金井駅～都立武蔵野公園、リビング多摩)【資料2】

(2) 多摩川流域自治体交流イベントラリーに協力(5/4～11/3)【資料3】

(3) 多摩川“水”大学講座(5/17、6/21)【資料4】

(4) 東急百貨店「ココエコチャリティーキャンペーン」開始(5/23～)【資料5】

(5) 令和元年度総会(5/25)【資料6】

(6) 多摩川流域魅力体験事業(多摩川カヌー駅伝大会)第1回実行委員会(5/30)

(7) 調布市環境フェア出展(6/1)【資料7】

(8) 第12回多摩川一斉水質調査(6/2)【資料8】※

(9) 青梅信用金庫より寄付金の贈呈(6/3)

～以下、当面の予定～

- (10) 美しい多摩川フォーラムの森（青梅）下刈りイベント（7/6）
- (11) 多摩川っ子（第12号）発行（7月上旬）
- (12) 狛江古代カップ第29回多摩川いかだレースに参加（7/21）【資料9】
- (13) 多摩川“水”大学講座（7/19、9/20）
- (14) 第11回炭焼き体験と水辺の交流会（8/21）【資料10】
- (15) 第6回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーン開始（9/1～）【資料11】
- (16) 第12回多摩川子ども環境シンポジウム募集開始（9/2～）【資料12】
- (17) 「多摩の物語」の語り会（9/6）【資料13】

5. 意見交換

- (1) 令和元年度事業計画について【資料6】
- (2) その他

6. 部会長総括

7. 閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム令和元年度第1回地域経済活性化部会を始めさせて頂きたいと思います。今日も蒸していますので、事務局はクールビズで失礼させていただきます。皆さんも上着を脱いで、リラックスして話をお聞きいただけたらと存じます。なお、本日は、令和元年度初めての部会になります。

始めに、新しい事務局体制をご紹介させていただきます。本年4月1日付で、美しい多摩川フォーラム事務局担当の黒米に代わって、持田が就任しました。引き続き、野村専務理事、鈴木と木村、そして事務局長の私、及川というメンバーで新たなスタートを切りましたので、よろしく願いいたします。

それでは当フォーラムのテーマソングである「多摩川の歌」の普及策の一環として、本日は小野リサさんによるボサノヴァ・バージョンでお聞き下さい・・・。

次に、初めて部会にご出席される方をご紹介いたします。

（大田区観光・国際都市部観光課観光振興担当係長 金野 雄太 様）

金野と申します。よろしく願いいたします。

（青梅市経済スポーツ部商工観光課観光係係長 山崎 剛 様）

山崎と申します。勉強させていただきます。よろしく願いいたします。

（公益財団法人東急財団事務局長兼環境部長 図師 真吾 様）

図師と申します。よろしく願いいたします。

(藍澤証券株式会社福生支店支店長 松坂 直樹 様)

松坂と申します。よろしくお願いいたします。

(株式会社Y・M企画代表取締役 丸山 洋子 様)

丸山と申します。初めまして。よろしくお願いいたします。

(アートプログラム青梅代表 原田 丕 様)

原田と申します。よろしくお願いいたします。

(中井 利幸 様)

青梅の中井と申します。よろしくお願いいたします。

(奥多摩町議会議員 澤本 幹男 様)

こんにちは。今日は奥多摩町の町議会議員4名で参加させていただきました。多摩川フォーラムの皆さまには日頃より奥多摩町のために色々ご尽力いただき、本当に感謝しております。今日はJRさんの講話を聞かせていただきますので、よろしくお願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。はじめに資料の確認ですが・・・(省略)。なお、本日は、当フォーラム運営委員であるJR東日本八王子支社様に特別に講話をお願いし、ご案内のとおり荒井課長様が講話をご担当されることになっておりましたが、先週金曜日の6月21日付でご異動となられたため、急遽、観光開発・宣伝グループ副課長の佐々木真弓様が講師を務められることになりましたので、よろしくお願いいたします。

それから、本日は薮田部会長が大学の授業がある関係で欠席となりました。代わって、堤副部会長に本日の部会の進行をお願いしております。

それでは堤副部会長に開会のご挨拶をよろしくお願いいたします。

2. 部会長挨拶

(堤副部会長)

皆さんこんにちは。薮田部会長が海外から帰ってこられて、部会に出ていただけののかなと思っていましたら、今日は授業ということですので、副部会長の私が会の運営をさせていただきます。皆さまにおかれましては、5月25日(土)の総会に朝早くからご出席いただき、有り難うございました。この総会を受けまして、本年度も部会を何回かおこなっていきたいと思います。

最近のニュースで、廃プラスチックが取り上げられており、いくつかの飲食店では

プラスチックを使わず、ストローを紙ストローにする動きが出ています。こういった小さな一歩が積み重なることで、私たちの多摩川もきれいでより美しい状態が100年先も続くのではないのでしょうか。

さて、本日はJRさんからお話をいただきます。青梅線が今後どのようなようになっていくのか、青梅線が秘めているパワーをJR東日本がどのように考えているのか等をお話いただきます。今日はこの講話を目当てに初参加の方もいらっしゃると思いますので、楽しみにしていただければと思います。それでは事務局に進行をお願いします。

3. 講話

(事務局)

それでは改めまして、本日はJR東日本八王子支社営業部販売促進課観光開発・宣伝グループ副課長の佐々木真弓様に、「JR青梅線の観光路線化の取り組みについて」と題するご講話をいただきます。間もなく前方のスクリーンにパワーポイントの画像が映し出されます。それでは佐々木様、よろしく願いいたします。

(JR東日本八王子支社営業部販売促進課観光開発・宣伝グループ副課長 佐々木 真弓 様)

ただいまご紹介いただきました、JR東日本八王子支社営業部販売促進課観光開発・宣伝グループを担当しております佐々木と申します。本来であれば、課長の荒井がお話をさせていただくはずでしたが、人事異動の関係で、急きょ私がピンチヒッターを務めますので、よろしく願いいたします。

それでは、目の前のスクリーンに沿ってお話を進めてまいります。テーマは「JR青梅線の観光路線化の取り組みについて」ですが、青梅線の中でも特に青梅から奥多摩の間を中心にお話をさせていただきます。私どもは、青梅～奥多摩間に「東京アドベンチャーライン」というサブタイトルを付け、一生懸命観光路線化への取り組みを進めており、昨年の9月にキックオフいたしました。皆さんは青梅線について良くご存じだと思いますので、詳しく申し上げる必要もないかと思いますが、多摩川が流れ、溪谷があり、とても風光明媚な場所を走る路線です。しかしながら、この区間は電車の本数が30～40分に1本くらいで、無人駅が多数を占める路線でもありますが、かと言って事業が上手くいかないから撤退などと、そんな簡単にできることではございません。我々は、線路を引いた以上、その地域ときっちり付き合っていく会社ですので、ここに何とかお客様を呼び込みたいという思いから取り組みをスタートさせています。

前置きが長くて恐縮ですが、「東京アドベンチャーライン」という名前、初めて聞いた方は「えっ？」という反応があったのではないのでしょうか。我々が観光路線化を進めようと決め、この路線をどういう風にPRしていこうかと考えた時、このエリアの特徴である、水があり山があり川があり緑があり、という所だけでは弱いと考えま

した。そういう所は日本全国どこにでもあります。そのため、もう少し引っかかる、ある意味とがった、人の印象に残るような路線にしたいと考え、「アドベンチャー」という言葉に目を付けました。一方で、「そうは言ってもここは東京です。皆さんの庭です。」というような、近さや親近感を感じていただきたいと思い、頭に「東京」を付けました。やはり個性を付けないと、他の路線と変わらない、埋もれてしまうという危機感からこのような名前を付け、ロゴマークも作成しました。この路線を「アドベンチャーライン」として売り出していこうという、我々の気合の表れでもあります。しかしながら、この取り組みは始めたばかりで、正直なところ手探りであり、とにかく「できる事を探してはやる」というような状態ですので、将来的なビジョンというよりは、今までどのような事をやってきたのかをご紹介します。

まずは当社らしい話からいきたいと思いますが、青梅線の終着駅である奥多摩駅は、今年4月にリニューアルオープンしました。多摩産木材を利用した待合室や、登山客のために更衣室を新設し、登山靴を洗える靴洗い場を設置、また、もともとあった2階のカフェ「ポートおくとま」をリニューアルし、念願のトイレも設置しました。列車の間合いでくつろいでいただけるカフェとして、若干ではありますがお土産も買えるようにしております。リニューアルオープンにあたり、駅前広場で「おくとまマルシェ」を開催し、地元の方の物産販売やコンサートを開いていただき、2日間、地元の皆さんに発意を持って盛り上げていただきました。

もうひとつリニューアルしたのが御嶽駅です。こちらが多摩産材を活用した待合室を新設し、レンタサイクル「MINACLE」を駅構内に設置しました。ここで我々が期待しているのは、2次交通としての自転車を浸透させていきたいということです。奥多摩駅前でも「MINACLE」と同じ会社が運営しているレンタサイクル「トレックリング」があり、青梅駅前や河辺駅前のレンタサイクルさんと連携し、奥多摩で自転車を借りて御岳で返すとか、御岳で借りて青梅で返すこともできます。実は小澤酒造さんでもレンタサイクル返却口を作っていただきましたので、奥多摩で借りて小澤酒造さんで返すこともでき、電車で補完しきれない部分の移動手段を担っていただきたいと考えております。ちなみに御嶽駅自体は3月にリニューアルオープンしましたが、「MINACLE」は4月にオープンしています。

沿線上に「東京アドベンチャーライン」としての統一感を演出したいということで、多摩産材を利用した駅名標とベンチにリニューアルしました。いわゆるJRの一般的な駅名標とは違い、緑色を基調とした、葉っぱの葉脈が背景としてデザインされています。また、各駅にちなんだモチーフをデザイン化したシンボルマークを設け、駅名標やベンチに印字しました。これらは「東京アドベンチャーライン」の各駅に設置されています。しかしこれだけではまだ不足していると思いますので、これから先、さらにこのエリアをアドベンチャーらしい駅にしていけるよう考えていかなければならないと思っております。

少し話が変わりますが、地元の皆さんと一体になって取り組んだものをご紹介します。去年の秋、青梅奥多摩もみじ協定さんと連携してPRをさせていただきました。青梅奥多摩もみじ協定さんは、今日ご出席いただいている青梅商工会議所の小澤会頭にも色々とりまとめをしていただきましたが、青梅～奥多摩間の観光協会さんや商工会さん、商店街さんが一体となって、このエリアの紅葉をPRしていく団体です。「もみじ」「紅葉」をモチーフとし、面でPRしていく取り組みです。10月中旬～11月下旬まで、青梅線のどこかで紅葉がピークを迎えておりますので、この時期にこのエリアに来れば紅葉を楽しめることをPRしました。駅貼りポスターを我々の経費で作成し、「奥多摩もみじ大爆発！！」というキャッチフレーズを一緒に使い、なるべくデザインも揃えて、一体感を持った宣伝をおこないました。横断幕は地元で作成されましたが、色々な紅葉まつりや地元のイベント等で横断幕を掲出されたと聞いております。また、列車にヘッドマーク付けたタイミングがありましたので、列車の出発式には協定の皆さんに参加していただき、そのまま立川駅まで乗車していただき、立川駅で観光キャラバンを実施して観光PRをおこないました。具体的な数字ではありませんが、去年の秋、青梅～奥多摩間は観光客も大爆発だったと聞いておりますので、一定の効果はあったのではないかと手ごたえを感じております。

続いて、JRの強みでもあり弱みでもある情報発信についてです。駅や電車を使った宣伝というのは、多数のお客様にご覧にいただける強い媒体であると我々も認識している一方で、日常において全くJRを使わないお客様も相当数いることを自覚しております。バスやマイカーを利用する人や、そもそも沿線に住んでいないという人たちです。我々はそういう方たちにもアプローチしていかなければならないという意識がございますので、路線バスのラッピングを始めました。今回は京王バスさんと西武バスさんとでラッピングバスを運行しました。私どもの様々なデータを確認したところ、青梅～奥多摩間へのお客様は、吉祥寺駅付近からの流動が一定数あるということが分かりましたので、まずはそのエリアで実施しました。また、時代は動画であると考え、30秒と15秒の動画を制作し、駅のデジタルサイネージやHP、Youtubeで放映しました。Youtubeはアップするだけでなく、広告代理店を使って閲覧数をアップさせる宣伝もおこないましたので、28万視聴までいきました。大量のパンフレットを駅で配布するよりも効果的だったのかなと思っておりますので、今後も動画はきちんと活用していきたいと思っております。しかし紙媒体も無意味であるとは思っておりませんので、四季ごとに発行している情報誌「青梅線・五日市線の旅」夏のお楽しみ特集号を発行し、「東京アドベンチャーライン」をPRしております。

情報発信をパラパラやるのも良いのですが、どこかで集中的にこのエリアに目を向けてもらうタイミングが必要です。JRでは「首都圏重点宣伝地域」と名をうち、JRの首都圏7社が春夏秋冬それぞれでひとつのエリアを絞って宣伝を投下しています。今年の7～9月については、我々八王子支社が青梅線を宣伝する機会を勝ち取

り、この3ヵ月間は首都圏エリアで青梅線の露出が上がることとなります。テーマは「東京アドベンチャーラインで遊ぼう!」とし、これは賭けだったのですが、タレントを起用してみようということになり、お笑い芸人「ニッチェ」に出演いただき、ポスターや3分程度のPR動画を制作し、宣伝していきたいと思っております。

首都圏重点地域のもうひとつの目玉として、7月からラッピング列車を走らせたいと思っております。実は去年の7月からラッピング列車を実施しており、沿線の動植物が可愛らしく配置された、明るいイメージのラッピング列車を立川～奥多摩間で運行していました。我々の感触としては、お客様から好感触を得られたと思っており、第2弾としてラッピングをパワーアップして7月1日から運行を開始します。JRでするので、列車施策が何よりお客様に喜ばれると承知しておりますので、こういった形で少しでも青梅線に乗りたいと思ってもらえれば良いなと考えております。

皆さまのお手元にJR東日本ニュースをお配りしました。今日お話した内容がさらに詳しく書かれていますので、後ほどこのプレスリリースをご覧くださいと思います。冒頭でも申し上げましたが、私どもは手探りの状態です。鉄道会社だけでやることには限りがあると感じております。多摩川フォーラムをはじめ、多摩エリアの活性化に向けて様々な活動を行う方々がいらっしゃいますので、そういった動きの中から多摩を元気に、多摩の流動を活発にというような大きな流れがさらに出てくれれば我々も協力していきたいと思っております。これで終わりという訳ではございませんので、今後も引き続き青梅線の観光路線化にひとつひとつ取り組んでいきたいと思っております。皆さまのご協力ご指導をよろしくお願い申し上げます。

(事務局)

有り難うございました。せっかくの機会ですので、ご質問のある方は挙手をお願いします。

(中央大学学会東京大田区支部副支部長 藤井 政男 様)

少し前から青梅線が減便になったと聞いておりますが、増便になったのでしょうか。

(佐々木 様)

増便ではありませんが、お客様の流動を見ながら、なるべく週末に臨時列車を出すようにしております。

(藤井 様)

これからは外国人観光客が増えますので、駅の表示を多言語化すべきだと思います。また、JR東日本さんが主導権を握っていただき、御岳山がミシュランガイドに載るように提案していただきたいと思います。

(佐々木 様)

外国語表記についてはおっしゃる通りだと思います。英語表記までは入っていますが、我々の取り組みでインバウンド向けはまだまだ弱いと感じております。しかしながら、鉄道会社だけでやってもしょうがないので、沿線の皆さまにもお力添えをいただきながら進めていきたいと思っております。駅のナンバリングはオリパラに向けて全社的に進めております。ミシュランガイドについても、我々だけではなく、地域が一体となってやっているところがないと、認定していただくのも難しいと思います。

(澤田アドバイザー)

せっかく駅毎に良いシンボルマークを制作されたので、スタンプラリーをやる計画はないのでしょうか。

(佐々木 様)

スタンプ自体はあるのですが、駅に置くというのは非常に難しいです。置いたら盗まれるのです。チェーンを付けていても盗まれるのです。有人駅でも盗まれます。スタンプは一部の方から持っていかれ易いので、そこをどうしていこうか考えているところですが、このまま埋もれさせるにはもったいないと我々も思っております。

(アートプログラム青梅代表 原田 丕 様)

青梅で現代美術の展覧会をやっております。御岳にある河鹿園が2年前に閉業し、そこで展覧会をやっています。青梅はポテンシャルが高いと思います。先ほどスタンプラリーの話がありましたが、青梅線を利用して歩くことがものすごく良いのです。私自身も沢井駅や軍畑駅で降りて、徒歩で御嶽駅まで行きます。青梅線の良い所は、駅の間が短く、起伏が余りありません。子どもたちから大人まで、自分の体力に合わせて駅の間を歩くことができるのです。JRさんから提案していただいた事はハード面が多いのですが、それと共にスタンプラリー等のソフト面での企画と一緒に提案していただくと良いと思います。青梅や奥多摩は、地方の観光地とは違うと思います。東京の武蔵野地区の方々が、青梅-奥多摩を自分たちの庭のように親しみ、季節毎に電車で来てくれて、そこに体験を絡めれば集客に繋がると思います。ですので、そういったソフト面や文化的な面も加えていければ良いのではないのでしょうか。スタンプラリーも日にちを限定すればできると思いますし、ボランティアにお願いしても良いと思います。

(佐々木 様)

ご指摘はもっともだと思います。まさにこれから観光地づくりをしていくことかなと思っておりますが、鉄道会社ができることは限られておりますので、皆さんのお力

をいただきながら進めていきたいと思いをします。

(事務局)

有り難うございました。佐々木様に今一度温かい拍手をお願いします。なお、講師の佐々木様はこのあと、ご退席されます。どうも有り難うございました。

4. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。今年度の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。それでは、はじめに(1)番の①、(8)番をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

いかがでしたでしょうか。経過報告を続けます。

(4) 東急百貨店「ココエコチャリティーキャンペーン」開始(5/23～)【資料5】

- ・ 【資料5】をご覧ください。5月23日より、東急百貨店の本店をはじめ10店舗において、ココからはじめる身近なエコ「ココエコチャリティー」が開催されており、今年もオリジナル・チャリティーグッズが販売されています。これは、東急百貨店のCSRの一環として企画されたもので、今年で10回目となります。環境活動に積極的に取り組んでいる団体として「美しい多摩川フォーラム」に売上金の一部を寄付し、多摩川流域周辺の環境保全活動に貢献しようというものです。美しい多摩川フォーラムでは、いただいた寄付金を、「多摩川一斉水質調査」などの活動に役立てております。皆さん、ぜひお早めにお買い求めいただき、フォーラムに還元していただければ幸いです。・・・ということですが、本日は事務局で多少ご用意がありますので、1個300円になりますが、お帰りの際にお求めいただけたらと存じます。なお、お預かりした金額は、まとめて東急百貨店にお振込みさせていただきます。

(6) 多摩川流域魅力体験事業(多摩川カヌー駅伝大会)第1回実行委員会(5/30)

- ・ 青梅市、羽村市、福生市、あきる野市、昭島市、八王子市の6市と連携して実施する多摩川カヌー駅伝大会の開催日が11月23日に決定しました。これは、東京都市長会の助成事業で3年目に当たります。今年も青梅から昭島まで約17kmのコースで四つの堰を駅伝の中継地とし、カヌー走者がたすきの代わりにカヌーを引き継ぐカヌー駅伝大会を計画しております。美しい多摩川フォーラムも6市

に協力してこの事業を盛り上げ、誘客に努めていきたいと存じます。

(7) 調布市環境フェア出展 (6/1) 【資料7】

- ・ 【資料7】をご覧ください。美しい多摩川フォーラムでは、第47回調布市環境フェアに出展し、多摩川一斉水質調査などの環境への取り組みを、調布市の皆さんに大いにPRしました。

(8) 第12回多摩川一斉水質調査 (6/2) 【資料8】

- ・ 【資料8】をご覧ください。フォーラムが直接担当した調査地点のCODの調査結果を速報としてお届けするものです。今回は上流の山梨県丹波山村から最下流の河口の0キロポストまで、多摩川水系の流域52地点の調査を実施し、山崎運営委員には多摩川下流域6カ所の採水、渡邊環境清流部会長には多摩川上流域2カ所の採水および52カ所の調査にご協力をいただきました。今回の調査は、CODに加え、水中の無機イオンの総量を示す電気伝導率や生活排水に多く含まれている硝酸態窒素、亜硝酸態窒素、リン酸態リンを、専門の計測器等を使って測定しました。なお、詳細なCOD調査結果レポートは、例年どおり11月に発行する予定です。

(9) 青梅信用金庫より寄付金の贈呈 (6/3)

- ・ 青梅信用金庫では、平成28年2月から4月にかけて「多摩川夢の桜街道応援定期積金」を販売し、募集総額10億円の0.01%に当たる10万円の寄付金を4年間に亘りいただくことになりましたが、6月3日に、最終4年目の寄付金として10万円の寄付金の贈呈を受けましたので、ご報告させていただきます。有り難うございました。

～以下、当面の予定～

(10) 美しい多摩川フォーラムの森 (青梅) 下刈りイベント (7/6)

- ・ 【資料6】の3ページ目をご覧ください。今年も森林の保全活動として下刈りイベントを計画しております。

(11) 多摩川っ子 (第12号) 発行 (7月上旬)

- ・ 今回で第12号になりますが、今年も7月上旬に発行する予定です。夏休み前に多摩川流域の小・中学校をはじめ、教育関係者に配布し、子どもたちにご案内する予定です。

(12) 狛江古代カップ第29回多摩川いかだレースに参加 (7/21)【資料9】

- ・ 【資料9】をご覧ください。今年も「美しい多摩川フォーラム号」として出艇します。美しい多摩川フォーラム号には、狛江市副市長をはじめ、ダニエル・カール副会長、平岡副会長ほか、柔道家でオリンピック女子メダリストの田辺陽子さんが乗り込み、第1レースに出艇します。皆さん、ぜひ会場に足を運んで、応援をよろしくをお願いします。

(14) 第11回炭焼き体験と水辺の交流会 (8/21)【資料10】

- ・ 【資料10】をご覧ください。今年も、奥多摩漁業協同組合のご協力のもと、青梅市、おうめ水辺の楽校運営協議会と共催します。竹による炭焼き体験と水辺の安全学習を実践する、親子参加型の交流会を予定しております。なお、7月16日より受付を開始いたします。

(15) 第6回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーン開始 (9/1～)【資料11】

- ・ 【資料11】をご覧ください。昨年で第5回となるキャンペーンを実施し、運動が定着しつつありますが、この運動をさらに盛り上げていくため、今回よりスタンプラリーを導入する計画をしております。本年1月より、スタンプラリーの具体的な内容について小澤酒造株式会社会長の小澤運営委員にご相談し、具体的な内容がようやく固まってまいりました。なお、今年の秋も、チラシをリニューアルして、JR東日本八王子支社様と連携し、管轄の駅にチラシを置いていただく方向で準備を進めております。また、大多摩観光連盟様が発行しているPR誌「大多摩四季報」の秋号にも掲載いただけるよう、準備を進めております。今年も、はとバスさんや各旅行会社さんにツアーを組んでいただけるように取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。本日は小澤運営委員にご出席いただいておりますので、本件について、一言お願いいたします。

(小澤酒造株式会社会長 小澤 順一郎 様)

私は小澤酒造の人間でもございますが、ついこの間まで酒造組合西多摩支部の会長をしておりましたので、多摩川フォーラムには酒造組合西多摩支部として大変お世話になっております。西多摩には酒蔵が5つありますが、なかなかそういうところはないのではないかと思います。「東京の酒処」と勝手に言っておりましたが、それに「多摩川酒蔵街道」と名前を付けて光を当ててくださったのが多摩川フォーラムです。今までも様々なイベントを企画していただき、お客様の誘致をしていただきましたが、今回はスタンプラリーとして初めての企画です。チラシをご覧くださいと、「スタンプ3つ以上」で“もれなく”ではないのですが、豪華な商品が当たります。スタンプラリーを実施すれば興味を持って酒蔵に足を

運んでいただけますし、ついでにJRにも乗るし、近隣の散策もしていただけるでしょうし、色々な意味で地域の活性化に繋がるのではないかと思います。大変有り難い話であると同時に、地域の特徴を多くの方に知っていただける機会になると思います。先ほどJRさんが「スタンプラリーは難しい」とおっしゃっていましたが、酒蔵はきちんとスタンプを管理する予定ですので、足を運んでいただければ有り難く思います。

(16) 第12回多摩川子ども環境シンポジウム募集開始(9/2～)【資料12】

- ・ 【資料12】をご覧ください。本年3月に実行委員会を開催し、子ども環境シンポジウムについて内容の一部見直しをおこない、憲章や要領を制定しました。また、これまで簡素であった募集チラシの内容も見直し、開催内容をできるだけ丁寧に記載するように改めました。なお、10周年を機に中止していた子どもたちの発表内容を纏めた冊子「みんなの発表誌」を復活させ、「多摩川っ子」を「みんなの発表誌」に吸収させる方向で進めております。本件は100年プランの変更にあたるため、11月の運営委員会に協議事項として上程する予定です。

(17) 「多摩の物語」の語り会(9/6)【資料13】

- ・ 【資料13】をご覧ください。今年は京王線府中駅前の会場において、「多摩の物語」の語り会を開催します。府中市様のご後援をいただき、8月1日の市報に募集記事を掲載いただく方向で進めております。また、京王電鉄様の全面的なご協力のもと、府中市内の駅にチラシおよびポスターの掲出をいただく予定です。なお、チラシは未定稿であり、演者や演目は仮置きしております。経過報告は以上です。

(堤副部長)

今年も企画盛り沢山で楽しみなイベントがございますが、事務局からの経過報告で、ご質問などございますか。私からの質問ですが、4月20日に御岳の森で初開催された懇親会はどうだったのでしょうか。私は参加できなかったのですが、内容を共有できればと思います。

(事務局)

毎年8月に「炭焼き体験と水辺の交流会」で使用している会場ですが、奥多摩フィッシングセンターの敷地内にある「美しい多摩川フォーラム・御岳の森」について、多摩川フォーラムの役員から「年に1回しか使用されていなくてもったいない」という意見が出ました。皆さんに一度施設を見ていただき、活用してもらいたいということで、4月20日に運営委員有志で懇親会を開催したところ、会社の懇親会等でぜひ

使わせていただきたいとの声が事務局に届いています。既に、羽村市さんからは施設を使いたいと具体的な申し出があり、今年の8月、八丈島との青少年交流事業で使っていただくことになりました。本件につきまして、羽村市の橋本部長から一言お願いいたします。

(羽村市産業環境部長 橋本 昌 様)

毎年夏休みに、羽村の子どもたちは八丈島、大島、広島の3つの地域と交流していますが、今年は八丈島の子どもたち20人と羽村の子どもたち20人、スタッフを入れて総勢60人で羽村と八丈島を行き来しながら6泊7日を過ごすプランですが、そのうち8月8日の一日、「御岳の森」を使わせていただくことになりました。初めての試みなので、次の運営委員会では報告できるかと思いますが、スタッフが下見をさせていただき、使用を決定させていただきました。皆さんもぜひ活用していただければと思います。

(事務局)

有り難うございました。話を戻しますが、4月20日は20名の役員の皆さんにお集まりいただきました。今日ご出席いただいている方の中にも参加された方がいらっしゃいます。梶田様、感想を含めて一言お願いいたします。

(富国生命保険相互会社立川支社市場開発グループ課長 梶田 俊樹 様)

当日は大変楽しい思いをさせていただき有り難うございました。すっかり酔っぱらってしまい余り覚えていないのですが、平岡副会長が目の前で釣ってくれた魚を焼いて食べたり、青梅の豚やジビエを食べたり、地産の良さや環境の良さを体感し、楽しませていただきました。有り難うございました。

(堤副部会長)

有り難うございました。それでは意見交換に入ります。はじめに事務局の方から説明してください。

5. 意見交換（副部会長）

(1) 令和元年度事業計画について【資料6】

(事務局)

【資料6】をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は1,900,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、同じく青梅信用金庫様より「多摩川夢の桜街道応援定期積金」販売に伴う寄付金として100,000円、委託金として青梅市様より250,000円を予定しており、前期

繰越金4,094,971円と合わせて合計では14,344,971円となります。

一方、支出の部ですが、総会等運営費として3,400,000円、各種活動費として8,086,000円を計上しております。なお、10周年記念事業の一つとして実施している「多摩川夢の桜街道」の札所見直しに伴う「多摩川夢の桜街道」公式ホームページ改訂については、当初の計画どおり令和元年度予算に計上しております。多摩川一斉水質調査・項目拡充とありますが、川の魚に有害とされる亜硝酸態窒素の調査を安定的に実施するため、計測器、試薬、備品を購入し実施する計画です。また、各事業報告としてビデオに纏めたビデオレター制作費につきましては、引き続き、撮影から編集まで完全内製化し、経費削減に努める計画です。この結果、次期繰越金見込額は2,858,971円となり、合計では14,344,971円となります。

2ページ目は、令和元年度事業計画の主な実施内容になります。経済、環境、教育文化、総合軸に主な事業を区分しております。ご覧のとおり、継続事業が中心となりますが、先ほどご説明させていただいたとおり、「多摩川酒蔵街道」への新たなスタンプリナー導入や、多摩川一斉水質調査の充実など、進化発展させる取り組みとなっております。3ページ目の令和元年度主な活動予定をご覧ください。11月の第11回美しい多摩川クリーンキャンペーンですが、今年度は青梅市御岳会場を中止することと致しました。理由として、年々ごみが減少し、ごみ袋がごみになる傾向が強まっていること、御岳会場に参加された団体に個別にヒアリングをおこない、仮に御岳会場が中止となっても他の会場で参加したいという意思表示をいただいたことから、中止の影響はないとの結論に至り、最終的には青梅市様に相談し決定したところです。なお、多摩市会場は11月2日、川崎市会場は11月9日に開催する方向で調整中です。4ページ目は令和元年度・会議の予定になります。

(堤副部長)

クリーンキャンペーンの青梅会場が、きれいになって中止になるというのは非常に良いゴールではないかと思えます。それでは、皆さん、ご質問やご意見がございましたら、お願いします。

(奥山アドバイザー)

私は釣りと魚のことしか分からないので、その部分でご提案があります。私も4月20日の懇親会に参加しましたが、「御岳の森」は多摩川に面していて釣りに最適な場所であると思いました。今年度は無理でも、来年度は釣りの体験教室をやってみても良いのではないかと思いました。野生の魚を釣るには装備が必要なのですが、「御岳の森」には奥多摩フィッシングセンターがありますので、小学生以上であれば、釣竿を使って文化的に釣りをしたほうが、子どもたちの情操教育にも役立つと思えます。

(事務局)

ただ今のご提案に対して事務局から一言申し上げます。釣りについては、10周年の時にもご提案をいただいたことがあるのですが、羽村市さんが8月8日に交流事業として奥多摩フィッシングセンターと「御岳の森」を活用して釣り事業を実施するそうなので、事務局でも当日会場で勉強させていただき、来年度以降、多摩川フォーラムとして釣りを事業化するにあたり、具体的なイメージを高めていきたいと思っておりますし、事業化する場合には、11月もしくは1月の運営委員会で上程したいと考えております。

(堤副部長)

有り難うございます。事務局でも同様に考えていたというのは非常に嬉しいですし、魚があればお酒もということもあるかと思っておりますので、5歳の銘酒が50名様にプレゼントされるというのを新たな財源に、ここは地域経済活性化部会ですので、多摩川フォーラムの会員には1割引で小澤酒造さんに販売していただく等、お酒の販売には免許が無いとダメですので、そういったこともありかなと思います。

(事務局)

いま地域経済活性化部会というお話があったので、スタンプラリーについて踏み込んだ話をしますと、5歳飲み比べセットを20名様にプレゼントしようと考えています。5歳分の300mlをセットにし、なおかつ「多摩川酒蔵街道」オリジナルのおちょこも付けて、5歳のお酒をそのおちょこで飲む仕掛けを小澤会長に相談しながら進めています。予算的な問題もあるので、残りの30名様には5歳のうちの300ml1本と、オリジナルおちょこをセットにしてプレゼントする予定で、合計50名様にプレゼントが当たります。まもなくチラシが完成して形になってくると思いますので、皆さんも5歳に足をお運びいただきお金を落としていただいて、スタンプを押してご応募いただければと思います。

(堤副部長)

有り難うございます。ココエコチャリティーのように、部会に参加した方が、自腹を切っても構わないので飲める機会があれば良いと思いますので、小澤会長、そこらへんはドンとお願いいたします。ほかにご意見等ないようでしたら、次に進めます。その他、事務局からありますか。

(2) その他

(事務局)

本日は大田区様からPRパンフレットをいただいておりますので、1分程度でご紹

介をお願いいたします。

(大田区観光・国際都市部観光課観光振興担当係長 金野 雄太 様)

皆さまのお手元に、大田観光協会と行政が協力して発行している冊子をお配りしました。四半期毎に出しており、区内の観光スポット等の情報を掲載しています。観光・歴史・文化・ものづくりの街等、色々な顔を持っている都市ですので、お時間があればぜひ大田区にお立ち寄りください。

(事務局)

有り難うございました。次に、澤田アドバイザーからよろしく申し上げます。

(澤田アドバイザー)

奥多摩町の冊子がリニューアルされましたので、皆さんにお配りしました。今日は奥多摩町の町議会議員の方が4名いらっしゃっていましたが、ぜひ奥多摩にもお越しください。

(事務局)

有り難うございました。次に、堤副部会長からよろしく申し上げます。

(堤副部会長)

私からもいくつかチラシを配っております。厚生労働省のチラシと東京都のチラシです。2020年は東京オリンピックが開催され、多摩エリアでもいくつか競技が実施されます。オリンピック期間である3週間で、沢山の選手・関係者がいらっしゃいます。多摩エリアで働けるように、テレワークやサテライトオフィスを活用していただければということで、自営型テレワークの活用セミナーや、ホームワーカーズウェブというサイトがあります。新しい働き方として、雇用されない働き方を選ぶフリーランサーの方々が増えてきています。多摩エリアも素敵なコワーキング施設がありますので、この人材を活用していただきたいと思います。これらのセミナーは受講料無料です。東京都でも、働きやすい職場環境づくりという、8月から始まるセミナーに関しては、中小企業様に対して奨励金が付いております。自然や環境に配慮できる皆さまに、人の働き方にもご配慮いただけるよう、知識を増やしていただければと思います。行政の方々も、東京都でこういったセミナーをやっていることを、行政区域内の中小企業事業者様に情報をご提供いただければと思います。

6. 総括・閉会（副部会長）

（堤副部会長）

7月には教育文化・環境清流合同部会がございますが、地域経済活性化部会としての単独部会は今日だけとなります。10月以降は三部会合同部会となりますので、10月9日にまたご参集いただき、皆さま方からご意見をいただければと思います。1年の計画は総会を通して決めておりますが、新しい取り組みや、既存事業内容の見直し等、皆さんの意見をなるべく柔軟に反映していきたいと思います。部会に来るのが楽しいと言っていたような運営を心掛けてまいりたいと思いますので、今後ともご協力をよろしくお願いしたいと思います。本日は有り難うございました。

以 上